

## 玄海つれづれ節 (1986)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 135分

初公開日 1986/01/15

公開情報 東映

## 【解説】

吉田兼好の随筆『徒然草』を原作とする現代劇。「オーディーン 光子帆船スターライト」の笠原和夫と「本日ただいま誕生」の下飯坂菊馬、そして兵頭剛による脚本を「パリの哀愁」の出目昌伸が監督した。音楽は「うる星やつら2 ビューティフル・ドリーマー」の星勝が担当したが、テーマ音楽は「バイオニック・マーダラー」のマーク・ゴールドンバーグが作曲した。主演は吉永小百合と八代亜紀。

商社社長の山岡駿介は事業に失敗し、数億円の負債を残し行方不明となってしまう。屋敷を追い出された妻のゆきは、夫が外で作った子供マサルとともに、駿介を追って九州へ向かう。借金取りにつかまりソープラントへ売られそうになるゆきだったが、同級生でおもちゃ職人の竹田に助けられ事なきを得た。土地の顔役である松藤が銀映館という古い映画館を取り壊しスーパーを建てようとしていることを知り、ゆきは借金の取り立て人である緑川月代を映画プロデューサーに仕立て、銀映館の経営者の南條京太郎から権利書を騙し取り松藤のもとへと向かった。

## 【クレジット】

監督	出目昌伸
製作	岡田裕介 坂上順 和田徹
原作	吉田兼好
脚本	笠原和夫 下飯坂菊馬 兵頭剛
撮影	飯村雅彦
美術	中村州志
編集	西東清明
音楽	星勝
テーマ音楽	マーク・ゴールドンバーグ Mark Goldenberg
助監督	吉崎元
出演	吉永小百合 八代亜紀 風間杜夫 岡田裕介 岩淵健 木内みどり 伏見扇太郎

山谷初男  
岡本信人  
樹木希林  
村田千栄子  
仲谷昇  
南利明  
山田吾一  
今福将雄  
草笛光子  
野村昭子  
内藤陳  
三船敏郎

Toshiro Mifune